# <h1>転職の一歩が踏み出せない！上司に転職相談するタイミングとは？</h1>

今の会社に不満があれば、転職したいと考えたくなりますよね。

転職すれば、今より良い条件の場所で働けるのではないかと期待したくなることでしょう。

しかし、転職したからといって、確実に今より条件が良くなる保証はありません。

闇雲に転職活動をしてしまうと、現職よりも条件が悪い会社で働ことになり兼ねません。

さらに、転職する為には、上司に退職について話を切り出さなくてはいけない必要があります。

例え自分の中で退職したいと考えていても、上司の承諾がなければ退職手続きを進めることができません。

また、円満に退職することができれば、後腐れなくて良いですよね。

そこで、どのように上司へ相談をすれば、気持ちよく転職できるのかを解説します。

## <h2>最初に、なぜ転職したいのか自分に問う</h2>

転職したい理由としては、「給料が低い」「人間関係が悪い」など様々な理由が挙げられます。

会社の悪い面を見ると、もっと条件の良い場所で働きたいと思う気持ちが強くなることでしょう。

しかし、感情だけで転職してしまうと、転職活動を失敗する可能性があります。

なぜ転職したいのかという意見をしっかり持っていなければ、転職を成功させることは難しいと考えられます。

また、転職先に期待を持っていたとしても、どの会社にも当然デメリットはあります。

デメリットを含めて、どのような条件であれば満足できるのか考えることが大切です。

転職活動を始める前に、本当に転職しても良いのかどうか自分の意思を確認しましょう。

### <h3>現職を辞めたい理由は何かを問う</h3>

つい、会社で嫌なことがあると、退職したくなりますよね。

衝動的に会社を辞めたくなることもありますが、まずは現職の何が不満なのかを客観視することが大切です。

辞めたいと思う気持ちは、一時的な不満なのか、長い間抱えてきた不満なのか気持ちを整理してみましょう。

一時的な不満であれば、現職のメリットを含めても退職したいのか考えてみてください。

メリットがあるにも関わらず退職してしまうと、後悔することになるでしょう。

長らく抱えてきた不満であれば、嫌な気持ちをバネにして転職活動ができると考えられます。

### <h3>具体的にどのような職種で活躍したいのかを問う</h3>

今の職種が合っていなければ、新しい職種に可能性を感じることもあるでしょう。

確かに、今まで活躍できなかった人が、職種を変えることで開花することも考えられます。

しかし、具体的にどのような職種で活躍したいのか考えていなければ、また失敗してしまう可能性があります。

転職活動をする前に、自分に向いている職種は何なのかを洗い出すことが大切です。

また、中途採用では、経験者を優先的に採用する会社が多くあります。

もしも現職で、得た知識を活かしたいのであれば、同じ職種に進む道も考えましょう。

### <h3>次の転職先に求めたいことは何かを問う</h3>

現職で不満があると、転職先に期待したくなる気持ちが高まりますよね。

但し、どの会社であったとしても、デメリットは必ずあります。

例えば、転職先の給料は良くても、人間関係が悪い会社であったなども考えられるでしょう。

転職先に期待しすぎると、思っていた会社と違うと感じてしまい、また転職を繰り返すことになり兼ねません。

まずは、転職先に最も求めたい条件は何なのかを考えましょう。

## <h2>転職すると決めた場合、上司に相談せず転職活動を始める</h2>

よく転職活動で落とし穴になりがちなのが、上司に相談してから転職活動を始めてしまうことです。

先に上司に相談してしまうと、転職を止められてしまう恐れがあります。

将来のビジョンが明確になっていなければ、上司は転職に関するマイナス面を伝えてくる可能性があります。

「転職が成功するか分からないのに退職して良いのか？」と言われてしまうと、どうでしょうか。

本当に転職活動に踏み切っていいのかどうか、悩んでしまいますよね。

また、上司から見てあなたが優秀な人物であると思われていれば、給料や職種など条件変更を持ち出され、引き止められることもあります。

せっかく転職しようと考えていても、条件が変更するなら現職に居た方が良いのかと気持ちが揺らぐことでしょう。

転職活動を本格的にしたいのであれば、上司に相談する前に転職活動を進めていきましょう。

### <h3>先に転職活動を進めれば転職に対する意識が高まる</h3>

現職で働いていると、本当に転職していいのか悩み、転職に踏み切れないことがあります。

しかし、本気で転職したいのであれば、在籍中であったとしても転職活動を進めていきましょう。

実際に転職活動を進めていけば、将来のビジョンが見えてきて、転職に対する意識が高まります。

また、選考に進むことができれば、転職に対しても自信を持つことができるしょう。

転職する道が出来上がっていれば、上司への説得力にも繋がります。

### <h3>内定があれば上司は引き止めにくい</h3>

先に内定を貰っていれば、上司はどうすることもできず、引き止めにくくなります。

また、転職先の入社日が決まっていれば、退職の目途をつけることができます。

上司によっては、勝手に内定を決めてきたことで、不機嫌になることも予想されます。

だからと言って、上司の機嫌を気にする必要はありません。

会社には、あなたの人生を決める権利はありませんので、堂々と転職活動をしてください。

しかし、現職で上司や他の社員に迷惑がかからないよう、今の仕事における段取りを考えるようにしましょう。

### <h3>転職先が決まっていれば安心して退職できる</h3>

上司に相談する前に、転職活動を始めれば、上司への説得力となる材料ができる他、安心感が得られるメリットがあります。

転職活動をする前に、今の会社を辞めてしまうと、無事に転職できるか不安になります。

正社員として働きたくても、なかなか見つけることができなければ、まずはアルバイトから働くことも考えられます。

ストレスを感じず、安心して退職する為にも、先に転職活動するようにしましょう。

## <h2>転職活動で注意したい点</h2>

転職活動は、上司の許可を得なくても、自分の意思で進めていくことができます。

ただ、転職活動を行う際は、今の会社に在籍していることを忘れてはいけません。

いくら不満を感じる会社であったとしても、あなたは今の会社に所属している為、会社の現状について考える必要があります。

実際、忙しい時期にあなたが抜けてしまうとどうでしょうか。

会社のすべてを考える必要はありませんが、今まであなたが担当してきた仕事を一方的に放棄するのは無責任に感じられます。

上司に転職することを伝える際に、自分のことしか考えていない事情を伝えてしまうと、円満に退職できません。

円満退職にしたいと考えているのであれば、会社や上司の立場も考えるようにしましょう。

### <h3>現職の繁忙期に転職活動は避ける</h3>

繁忙期に、あなたが抜けてしまうと、上司や他の社員への負担が大きくなります。

新しく社員を補充しようと思っても、採用に関する業務では求人募集から採用まで多くの工程を行う必要があります。

すぐに人員を補充することは、難しいと考えた方が良いでしょう。

余裕がある時期であれば、上司にも気持ちにゆとりがある為、円満に話を進めることができます。

### <h3>内定先に「すぐに来て欲しい」と言われた場合は要相談</h3>

中途採用を募集している会社の中には、人員不足ですぐに来て欲しいと考えているところもあります。

内定が出て、「すぐに来て欲しい」と言われると、嬉しい気持ちになりますよね。

しかし、「すぐに来て欲しい」と言われた直後に、「すぐに行ける」と即答することはおすすめしません。

急すぎる転職は、上司に否定されてしまう恐れがあります。

さらには、転職先にとっても、「やっぱりすぐに転職できない」となれば印象が悪くなってしまいます。

せっかくの内定であったとしても、一旦は上司に相談して、返事するようにしましょう。

また、会社の就業規則には、退職を申し出る期間が決まっている場合がある為、確認するようにしてください。

### <h3>予め引継ぎ資料は用意しておく</h3>

今、あなたが行っている仕事の中で、上司や他の社員が分からない仕事内容があれば、引継ぎ資料を用意しましょう。

上司は、あなたが抜けることで、引継ぎが上手くいくかどうか不安に思うことがあります。

急な転職であったとしても、きちんと引継ぎ資料があれば、上司に安心してもらえる材料になります。

引継ぎ資料を作る際は、あなたがいなくても誰でも理解できるように、分かりやすく作るよう心がけてください。

## <h2>転職活動が上手くいけば、すぐに上司へ相談する</h2>

転職活動をしている中で、内定が決まれば、すぐに上司へ相談してください。

内定を貰った時点であれば、説得力を持って、上司に話すことができます。

また、内定を貰っていなかったとしても、転職活動が上手く進んでいれば、早めに上司に相談するのも有りです。

早めに相談することで、お互いに心の余裕ができ、スムーズに退職を進めていけます。

但し、上司に相談する際は、いかに納得してもらえる話ができるかが重要となります。

実際、どのように相談すればいいのか順を追って解説します。

### <h3>自分が希望する道を伝える</h3>

ざっくりと転職したいと伝えるだけでは、上司に納得してもらえない可能性があります。

現状を改善すれば、会社に残ってもらえるのではないかと、意見されることが考えられます。

将来どの道に進んで、どのように活躍したいのか具体的なビジョンを話せば、上司にも思いが伝わります。

上司に相談する前に、自分の転職に対する気持ちをしっかりまとめておきましょう。

### <h3>引継ぎは準備していると伝える</h3>

上司に、転職の話を持ち掛けると、引継ぎを心配されることがあります。

引継ぎの資料を作成している旨を伝えれば、上司にも安心してもらえることでしょう。

さらに、引継ぎの準備がしっかりしていれば、転職に対する本気度も伝わります。

引継ぎについて上司に伝える際は、引継ぎにかかる時間も一緒に伝えるようにしましょう。

例えば、引継ぎに1ヵ月かかることが分かっていれば、上司も今後の段取りを考えやすいです。

### <h3>上司に対して感謝の気持ちを伝える</h3>

最後は、上司に今までお世話になった感謝を伝えましょう。

最後まで感謝の気持ちを忘れないことで、円満退職に繋がります。

また、上司との関係が悪い人であれば、あまり感謝を伝えたくないかもしれません。

しかし、今まで一緒に仕事をしてきたことには変わりない為、一言でも感謝を伝えることが大切です。

退職してしまえば、上司とも会うことはありませんので、最後だけでも退職しやすいよう一言でも感謝を伝えましょう。

## <h2>転職は思い切った行動が大事！</h2>

転職したいと思っていても、上司への相談がネックになって、なかなか進められないことはあります。

しかし、行動しなければ、一向に転職することができません。

まずは、実際に行動へ移し、転職の一歩を踏み出しましょう。

転職活動を進めていけば、意識が転職に向いていく為、後に上司への相談もしやすくなります。

今一度、転職に対する気持ちを確かめ、勇気を持って転職活動を進めていきましょう。